

新しい生涯学習センターは、夜、南三陸の「灯台」となり、町のシンボルであると同時に、周辺住民の方々に安心感を与えます。



みんなの「居場所」：来館者は思い思いの場所を発見し、読書や会話、活動を楽しみます。



●本が人を繋げる：開かれた施設

・みんなの居場所をつくる！！  
ひとりでのんびり  
材料教室のついでに、木の暖かみ  
お気に入りの場所を探して  
みんなでわいわい  
どんどん奥へ

●わかりやすさ、パツパデザイン

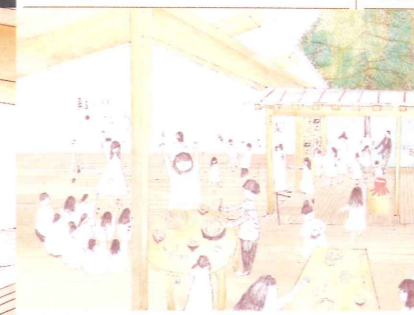
・低層の建築、コンパクト化  
木構造、柱の負担軽減、材種抑制、基礎形状のコンパクト化等を実現し、建築にかかるインフラコストの低減を図ります。  
・単純な構造：地元での施工  
単純な木造梁、桁、垂木の構成とし、地元の工務店、大工の技術で十分に対応可能な建築構成とします。  
・フラット  
一体感のある空間構成と主導線としてILVカー等を無くし、インフラコスト低減を実現します。  
・LCC(ライフサイクルコスト)の低減  
自然の恵みを利用し、光熱水費を極力減らします。  
・コスト及び設計施工管理

●自然エネルギーの有効利用

・自然光による採光  
施設中央の上部にハイサイドライトを設け、冬場の日差しを施設内の奥まで導きます。  
・空気の循環  
基礎下に「ケル/クォーレドット」を設けます。  
・雨水利用  
大屋根面の雨水を効果的に集水

●再生可能エネルギー等の利用

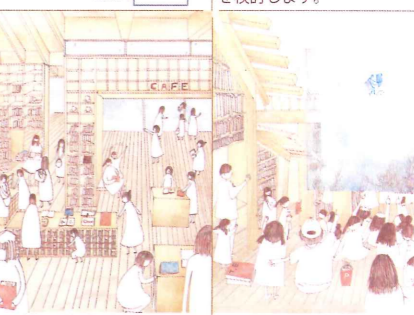
-LCCの低減効果を狙って-  
・太陽光発電システムの採用  
・屋根緑化の採用  
・地中熱利用システムの採用  
・中水利用システムの採用  
・バイオマス燃料-利用について



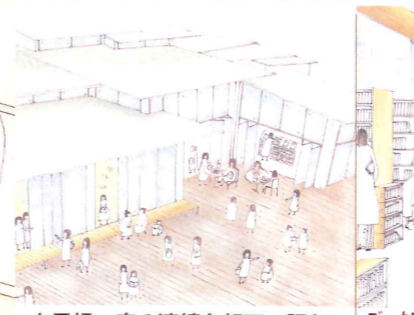
・中庭、多目的ホール、調理実習室の利用イメージ



・インフラからかた等の賑わう様子



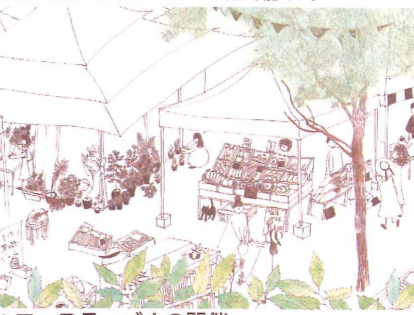
・みんなで中庭に集まる！



・小屋根、庇の連続と軒下の賑わい



・フェスティバルの開催



・みんなで楽しんでつくる建築

●建築の基本構成 / 適度なスケール感

・住宅スケールの建築構成  
一般的な木造住宅スケールの部材をメインとして、無理のない建築構成とします。  
・分節された屋根の集まり

●見せる棚、面格子「耐震本棚」

・面格子の構造壁 = 本棚  
大きな地震にも対応できるように構造上有利な面格子構造を採用します。  
・多機能な耐震「本棚」

●耐火仕様への考え方と地元の材料

・木造と耐火要件の建築を分棟化  
耐火建築：集会所・ホール  
RCあるいは木造耐火  
・簡単に子どももお年寄りも参加  
・ミニ通信の発行で情報共有

開架書庫 (南三陸のアーカイブ) ①知の蓄積 ②復興のアーカイブ ③ショーウィンドウ